

る。どこに何号車が止まるか分からない。自分の乗車券と列車番号を見比べながら、かけつことなる。

旅には常時パスポートを携帯しなければならぬ。これは国際常識である。ヨーロッパに来て初めて知ったが、犬にもパスポートが必要なのである。犬が生まれたときに届け出をするがそのとき、体内にチップを埋め込むのである。どこで生まれたのか、生年月日は、犬種は、オスカメスカ、毛並みの模様や色は、飼い主はだれか、等々の情報が入っている。この情報を打ち出したのが犬用パスポートである。ユーロ圏には国境検問所はないが、犬も国境を越えるときにはパスポートが必要となる。

フランス観光のために、日本でいうトヨタのビッツ、ヨーロッパではヤリスという名前のレンタカーを借りた。この車、日本とどこが違うかといえば、左ハンドルとスピードメーターが違うのである。何とスピードメーターが二二〇km/hである。

日本だったら最高時速一八〇km/h位なものである。実際高速道路を走ってみるとどの車も平均時速一三〇km/h位でバンバンとばしている。こんな小さなエンジンで大丈夫だろうかかと心配してしまった。車を走らせているとどうしても前方を走っている車が目に入る。運転に慣れてくると車のナンバープレートを識別できる余裕も出てくる。

ナンバープレートの左端に円状にユーロの★のマークがついている。その下に国を表すアルファベットが書かれている。Bならばベルギー、Lならば

ばルクセンブルク、NLならばオランダという具合である。プレートの色も黄や白色で文字は黒や赤字で書かれている。

会員の声より

朝倉 正教（平成二十三年度退職）

八王子市教育センターで特別支援教育のお手伝いをしていました。退職して自分の時間が増えたので、趣味を広げました。職場の人や教え子たちとゴルフを楽しむ事。特に退職を機に、最初の卒業生（約三〇年前）との同窓会に声をかけてくれ、毎年集まるようになりました。私は一年々六年までの担任に声をかけ、何人か集まってくれました。

また、江戸時代の名所旧跡を訪ねる事。例えば、赤穂浪士に関連した場所、勝海舟の生誕の地、板垣退助の墓所、神社仏閣のご朱印集め等を巡っています。また、京都の魅力に取りつかれています。

知恩院の除夜の鐘を聞きに行ったり、大文字焼きの山に当日登ったり、大政奉還の行われた広間を見学したり、鉄道会社のPR写真のあとを追いかけてたりして、四季を通じて何回行っても景色の違う奥の深い場所です。

江戸時代の名所旧跡に文化を加え、京都で見てきたことをまとめ



る意味を含め検定に挑戦しています。覚えるのに時間がかかるようになりましたが、見聞を深め見聞を深め、ボケ防止に役立てていこうと思っています。最後になりましたが、皆様のご健康を祈念いたします。

東京都中

会報 第三十号より

『江戸時代する』

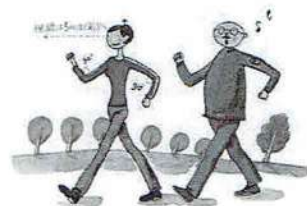
—東京の変貌と昭和レトロの探訪—

副会長 西川 順

皆さんの健康法はなんだろうか？私は歩くことを心がけている。府中駅の北側から多摩川の堤防沿いに、二子玉川まで往復したことがある。飲まず食わず歩き続けるのは、至難の業である。家内から「江戸時代じゃないんだから！」と呆れられた。以後、我が家では常軌を逸した歩行を『江戸時代する』と呼ぶようになった。

家内の教え子から展覧会の招待券が届いた。『琳派四百年記念 琳派のきらめき』である。家内は仕事で都合が悪く、私一人で行くことになった。実は、彼女の中三の担任は私で、高一の担任が家内であった（奇しき因縁）。京都↓大阪↓横浜の高島屋を廻って、日本橋にやってきた。最終日の五月十一日（月）に鑑賞した。寡聞にして琳派と聞いて思いつ

くのは、俵屋宗達の『風神雷神図』、本阿弥光悦の『舟橋蒔絵硯箱』、尾形光琳の『紅白梅図』（いずれも国宝。今回は展示なし）であるが、繊細で優美な筆致と鮮やかな色づかいは女性好みである。どうりで年配の女性の姿が目立つ。



家内のためにカタログを購入した。

帰路は、メタボ対策として『江戸時代する』ことにした。日本橋から（内藤）新宿まで甲州街道沿いを歩いて、東京の変貌（時の経過）と昭和レトロ（時の停止）を探訪することが、この旅のテーマである。

主な通過ポイント⇨日本橋高島屋⇨八重洲地下街⇨御幸地下ギャラリー⇨皇居（二重橋・桜田門）⇨国会議事堂⇨首相官邸⇨日枝神社⇨赤坂見附交差点⇨ホテル・ニューオータニ⇨迎賓館⇨四谷中⇨四谷見附交差点⇨新宿通りと靖国通り間の路地を西進⇨新宿サブナード⇨思い出横丁⇨新宿駅（西口）

①昨年十二月五日の乾通り一般公開（教頭会・忘年会前の自主研修）以来 ②教諭時代の出張先 ③④大学時代に足繁く通った（約四十年ぶり）。⑤何度かの改装を経たが、手狭で老朽化も目立つ。客を呼び込むため、エレベーターなどユニバーサルデザインが求められる。⑧相変わらず、薄汚れて酔客

でこつた返している。却って、ノスタルジアを覚える。この後、府中（宿）まで電車で甲州街道を旅した。歩数計によると、二時間半／一八・三七二歩／十四・六九km歩いたことになる。結果、体重／体年齢は八一・四kg／六十一歳であった。五日前と比べ三・五kg減り／三歳若返った計算になる。所期の目的は達成された。たった一日の二万歩弱の歩行でと思われがちだが、連日の徹夜（昼夜逆転）によるマドリッド・オープンのTV観戦で体力を消耗したのかもしれない。錦織君！疲れるのは君だけではない。

【後日譚】十五日（金）大手町に用事があり、車で出かけた（マニュアルを運転するのも健康法の一つ）。帰途、月曜とほぼ同一ルートを通ってみた。

内堀通りから桜田門交差点を抜け、前回同様③の北側の名無し坂を下りようとした。関係車両以外は進入禁止で、並行した山王坂（衆議院第一・二議員会館の間）を通り、③を巻いて外堀通りに出た。④は前回素通り。路肩に車を止め、正門を撮影して柵越しに宮殿と噴水を眺めた。

今回は事前に申込み、内外を参観したい。⑥を左折して国道二十号を④の南口に向かった。因みに、大手町⇨④の五・九kmを二十五分、④⇨⑤の三・二kmを十五分で走った。

この後も、府中（宿）ま



で車で甲州街道を旅した。連夜のTV観戦にもかかわらず車で楽しませいか、対月曜比で体重／体年齢とも〇・五kg／一歳増えていた。良い子の皆さんは真似してはいけません。どうしても『江戸時代する』場合、帽子などを被り、水分を十分に補給し休みを取ってください。くれぐれも、「年寄りの冷や水」にならないようご注意願います。

群馬県

会報 第四十四号より

被災者の手紙を見て思うこと

関 和郎

岩手県岩泉市駅前の街路樹、ナンジャ・モンジャの絵葉書を頂いた。「東日本大震災」直後の家内あて「生け花」同人の消息でした。

『梅雨入りと同時に猛暑です。ごぶさたしております。この度の災害の折には、ご心配とお心遣いを頂きました。誠にありがとうございます。』

震災が少しずつ遠のいておりますが…。磐城市の放射能値は低いのですが、ヒ



ヤヒヤの生活をしています。原発事故の収束をただ祈るのみです。

東京に出かけるのも少し考えてしまいます。暇です。縮緬細工を楽しんでいます。贈りました人形をお部屋の隅にでも置いてやってください。

頂戴いたしましたリングを楽しみながら食べています。先生、おみ足はいかがですか。無理なさいませんよう……。お大事に！』

あの日から、五年有余の時が経過した。現状はどうでしょうか。

私は、「立憲主義の国では、国民が平穏な日常生活を志すところ」にあると考えます。

当事者意識の希薄な現政権に対し、国民は「誰が利益を得て、誰が犠牲を強いられているか」を見定める必要があります。

ますます混沌たる国際情勢に対しても、個人として決断すべきであると思います。

皆さんがそれぞれ、志を決める際の一助になれば幸甚です。

呵 呵

福島県

会報 第三十二号より

生瀬騒動

福島地区 伊藤 義夫

江戸時代の百姓一揆は年貢をめぐっての百姓と代官や領主への反抗であり、多くの義民を出して集結している。江戸時代約三千二百件、年平均十件以上発生し、特に天明・天保の飢饉に多発している。年貢をめぐっての悲劇の中でも生瀬騒動は特異で、一村約五百名余の全村民が撫で切りになった事件であることを知った。

高校一年の秋のバス旅行は袋田の瀧であった。四段の瀧が紅葉に映え、常陸第一の名勝に心を奪われた楽しい思い出となっている。

藩領一の景勝地で光圀も「いつの世に包みおきけん袋田の布引き出す白糸の瀧」と詠んでいる。あの袋田の瀧の上流月居峠を越えて小生瀬に出る。

事件は江戸時代初期、初代藩主頼久の時代一六〇九年のことである。関ヶ原の戦いが終わって間もなくのことである。取り入れが終わわり、年貢取り立ての役人が来たので言われるままに完納した。すると間もなく別の役人が現れて、年貢を督促したので庄屋をはじめ村人は怪しんで偽者だろうと判断して彼等を襲い殺してしまった。ところが実は、後の役人が本物であった。

水戸藩では、百五十余人の侍が押しかけて来て、

村人全員撫で切りにしてしまった。

一六〇九（慶長一四）年一〇月一〇日と言われるが、記録はほとんど無い。水戸藩の恥部だからである。第二代藩主光圀は、初代頼久の第三子として一六二八（寛永五）年に誕生し、一七〇一（元禄十三）年に七十三歳で西山荘で亡くなっているから、歴史好きの彼はこの事件を知っていたことは明らかである。

年貢にまつわる悲劇の中では、特異な事件として印象に残っている。その後、藩は偽侍たちに対し、どのような対応をしたのであろうか。関ヶ原の残党だったのではなからうか……。などと想像をめぐらしている。

再び袋田の瀧を訪れて、生瀬まで足を伸ばして、命乞いした歎願沢や殺された地獄沢を歩いてみたい。黄門様なら何か騒動について話してくれるかも知れない。

秋田県

松柏 第三十五号より

教頭退職者の特権

工藤 兼雄美

自然を素材にした道徳的教育を夢想した時期がある。例えば突然変異で生まれた最初の首長キリンの話、仲間から変わり者と虐げられたが、その特性を

